

生き生きと学びながら、健やかに育つ教育環境の整備充実を目指し、安心・安全の学校づくりを進めます。平成21年度は、八木中央幼児学園（八木中央幼稚園）の園舎、園部小学校体育館、神吉小学校体育館、殿田中学校体育館の耐震補強工事を実施していきます

(36)

授業方法や指導内容に関する研究委託事業、少人数教育に係る講師の配置なども引き続き行い、子どもたちの学力の充実と向上を図っていきます(37)。また、障がいのある子どもたちが、生き生きと楽しい学校生活が送れるように特別支援教育支援員を増員して配置し、より細かな配慮で支えます。また、特徴ある教育の一つとして、外国語指導助手を学校に派遣し、小学校における英語活動、中学校における英語教育を進めています(38)。子どもたちの表現力・国語力・創造力を豊かなものにする読書活動では、日常的に本に親しむ環境を整えるために、引き続き読書指導員を配置し、読書への広がりや深まりを目指していきます(39)。

学校給食においては、殿田小学校の改築に合わせて平成20年度事業で敷地内に共同調理場を整備。



▲子どもたちの興味を誘う授業の進め方で成果を発表



▲4月に運営を開始した日吉学校給食共同調理場

4月から日吉町内の殿田小学校・胡麻郷小学校の給食を開始していきます(40)。

保育と教育が共存できる環境へ

幼稚園は文部科学省所管で、就学前の幼児を、遊びを通して心豊かにたくましく「生きる力」を育

成する教育機関。保育所は厚生労働省所管で、保護者が労働や病気などのために昼間保育に欠ける乳幼児を保育する施設です。

平成21年度から幼稚園の教育要領、保育所の保育指針が共に改正されることとあわせて、就学前教

安定した財政運営によるまちづくり

まちづくりの財源を確保

厳しい景気後退の中でまちづくりの財源を確保するため、税や料金の徴収率の向上に努めます。市税は、市のさまざまな事業を行うための費用であり、所得や資産の状況に応じて公平に負担していた

だいているものです。旧町からの税率を使用している固定資産税や都市計画税、水道料金、下水道使用料などについても統一を図っていきます。また、財源創出に向けて知恵を絞って、安定的な財源の確保を目指します。

市の財産として保有している土地の中には、有効に活用できていないものがあります。これらを適正に管理・利用していくために、「公有財産等の処分等に関する検討委員会」からの提言を受け、「南丹市公有財産等の処分等に関

育として幼児教育と保育につながりを持たせていきます。市役所の事務についても、これまで幼稚園は学校教育課が、保育所は子育て支援課がそれぞれ担当していましたが、子育て支援課で一体的に事務処理を行っていきます。

36 幼稚園・小・中学校耐震補強工事

(新規) 1億7,853万円

37 学力充実・少人数指導事業

3,005万円

38 小・中学校英会話事業

1,420万円

39 読書指導員配置事業

352万円

40 日吉給食共同調理場運営費

(新規) 1,185万円